



# 府大発のオープンイノベーションの祭典

# TOPU Tech-thon 2016

creative values using your ideas & technology

## 求む 文系のアイデア、求む 理系の技術—

近年、社会課題の多様化に伴い、その解決にむけたイノベーションが求められています。そのため、組織外から技術やアイデアを取り込むことにより新しい価値を創り出す「オープンイノベーション」が重要視されています。

テックソンは、「技術はあるがアイデアが欲しい」、「アイデアはあるが技術が欲しい」を実現するために、分野を問わず技術やアイデア、様々な視点をもつ学生・教員・社会人がチームを組む、デザイン思考により技術とアイデアをつなぎ、社会課題の解決案を模索することで、技術シーズを利用した新しい事業の芽を共創することを目的としています。

開催直前!

## FIRST ACT・アイデアソン

@C1棟 学術交流会館

10/22 Sat. 10:00 ▶ 18:00  
23 Sun. 10:00 ▶ 17:00

プレゼンターが技術・アイデアを提案  
▼  
参加者が共感した技術・アイデアに対し  
マッチングを行い、チームを結成  
▼  
チームごとに課題解決に向けた  
プロトタイプ案・事業モデルを検討

Inspiration!



Ideation!



Innovation!



## 技術・アイデア公開!

1. 圧電効果を使った小型発電機
2. ベルチェ冷却式高性能霧箱
3. ウェアラブルエレクトロニクスの創出  
~新たなヘルスケア社会へ~
4. 人と調和する機会の創出  
~パーソナルモビリティ・ビークルからの福祉機器~
5. 物質のアレイ化と機能性空間の構築  
~自然の力を理解した機能の発現~
6. 地域創生 ~四国における地域活性化について~
7. Near Field Communication (近距離無線通信)の新しい使い方を!!
8. 自転車のシェアエコノミー提案
9. 超小型自転車開発
10. 持続可能なシングルマザーの就活支援事業
11. Embedded software for IoT technology
12. フォトニクス結晶を使った簡易アレルギー検査キットの開発

## 参加者募集!

アイデアソンに参加して、テックソンを盛り上げる参加者を募集! 詳しくは、裏面のQ&Aをチェック!

申込不要  
飛び込みOK

## Tech-thon Schedule

### FIRST ACT アイデアソン

@C1棟 学術交流会館

10/22,23

提案されたアイデア・技術を  
囲い参加者がチームを結成。課  
題解決に向けたアイデアソン  
を行います。

### SECOND ACT Ideation-Workshop

@グランフロント大阪

12/14

12/10,11 にサポーター企業も参加する  
ワークショップを実施。12/14には  
課題解決に向けたプロトタイプ案を企  
業サポーターの前でプレゼンを行い、  
プロトタイプ作成に必要な技術・資金  
サポートを獲得します。

### FINAL ACT テックソンファイナル

@ ビジネスプラザおおさか

3/3

完成したプロトタイプを発表し、  
優秀なグループには、本格的な  
投資を受けるチャンスが!

## 参加サポーター

(アルファベット順)



INDEE Japan



Proassist

株式会社 プロアシスト

Tech-thon 特設ページ



## FIRST ACT アイデアソン TIME Schedule

### 10/22 Sat.

- 10:00 テックソンの進め方  
10:30 【講演】テクノロジーベンチャーのスタートアップ  
~11:45 ~技術を事業にするための鍵~  
13:00 技術シーズ・社会課題、アイデアの発表  
15:15 グルーピングワークショップ  
17:00 グループ決定

### 10/23 Sun.

- 10:00 テックソン発表準備  
13:00 各チーム企画発表



## 講演

### テクノロジーベンチャーのスタートアップ ~技術を事業にするための鍵~

10/22 Sat. 10:30~11:45



津嶋 辰郎

INDEE Japan 代表取締役 マネージングディレクター  
大阪府立大学航空宇宙工学専攻修士  
アクセラレーションプログラム ZENTECH DOJO @ 日本橋代表メンター  
NEDO TCP メンター 事業カタライザー  
東京海洋大学 博士後期課程 非常勤講師

## Q&A

### Q 参加するのに申し込みは必要か

- ≫ 事前の申込みは不要です。
- ≫ 参加希望の方は、当日、会場にお越しください。

### Q 応募資格は?

- ≫ 学生・教職員問わず、どなたでも参加できます。  
府大外からの参加も募集しています。
- ≫ 特定のアイデアがなくても何かしたい、そのやる気を求めます。
- ≫ このようなイベントに参加するのが初めての方も大歓迎です。

### Q どのような発表・技術サポートがあるのか

- ≫ 様々な革新的な技術・アイデアの発表がごございます。
- ≫ 企業サポーター様からマイコンやその周辺機器、ソフトウェアなどを提供していただく予定です。
- ≫ 詳しくは、テックソン HP (下記 QR コード) をご参照ください。

### Q 全日程参加義務か

- ≫ 22日にチーム作りのためのワークショップをします。  
原則1日目はご参加ください。
- ≫ もし来られない方でも、途中参加も考えています。  
HPにて随時お知らせいたします。
- ≫ 12/14(水) グランフロント大阪開催の Ideation-Workshop は  
平日開催となっています。チーム代表者のみの参加で構いません。

### Q 個人・グループでも参加は可能か

- ≫ 個人・グループなど、参加形態は問いません。

最近首都圏を中心として、アイデアソンやハッカソンと呼ばれるいわゆる起業に向けた若者対象のアイデア合宿イベントの開催が増えている。そういう場に参加していつも感じることは、世の中の課題の多くは認識されており、事業アイデアは溢れているということである。しかし、なかなかそこから先に進めないのは、それを実現する技術とそれを推進する人、こちらが圧倒的に足りていない。そんな中、今回のテックソンという取り組みが、今後盛り上がっていくことに非常に期待している。

ここ数年、経産省は日本における新産業の牽引役としてベンチャーに注目し、起業を支援するグラントも年々強化されている。独立系のベンチャーキャピタルも増え、かつてはこうした小規模で不確実性の高いビジネスに見向きもしなかった金融機関も支援に力を入れ始めている。つまり、トレンドとしては日本においても間違いなく起業という選択肢が多くの人にとって身近になりつつあるのである。しかし、現実に向き合うと一般の人にとっては、起業といっても何から手を付けて良いか分からないし、アイデアはあるものの技術の素養がないため行動を起こすことは容易ではない。ベンチャーの起業を経験した人材は日本には殆どいないわけだし、そのプロセスもまだまだ殆ど知られていないため当然である。ベンチャーの立ち上げプロセスとは、殆どの人達にとって全く新しい経験になる。恐らく既存事業におけるビジネス経験の多くはほとんど役に立たない。全く異なるアプローチを進めなければならないからこそ、実践を通して経験でしか学び難いものである。そういう方こそ、今回の機会は多くの気づきを与えてくれるはずである。まずは何より体験してみることをお勧めする。当日お目に掛かるのを楽しみにしております。



← Tech-thon 2016 特設ページ  
<http://www.csies.21c.osakafu-u.ac.jp/info/2310>

主催: Tech-thon 実行委員会

共催:

